



## 「道徳」＝「自分をよりよくするためのヒントを探す時間」となるように

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

道徳教育は、生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成することをねらいとして行われています。中学校では令和元年度から道徳の時間は「道徳科」という教科となり、5年目を迎えています。

この「道徳通信」では、学校教育全般における道徳教育の取り組みや道徳の授業の様子などを紹介していきます。紹介する様々な取り組みについてご家庭や地域でも話し合い、心をはぐくむきっかけとなってもらえたら幸いです。

## 年間を通じて考えていく「22個の心」

道徳科の時間は一人ひとりが自分の「心」と向き合う時間であり、毎時間1つの「心」についてクラスの中で話し合い、互いに意見を交流し合う中で、その「心」について考える「ヒント」を得ています。そして、各学年、年間を通じて考える「心」が以下の22個あり、その22個の心の中でも各学校ごとに重点項目を決めて取り組んでいます。

### A. 自分自身に関すること

- ① 自主・自律
- ② 節度・節制
- ③ 向上心
- ④ 希望と勇気
- ⑤ 真理の探究

### B. 他の人との関わりに関すること

- ⑥ 思いやり
- ⑦ 礼儀
- ⑧ 友情・信頼
- ⑨ 相互理解

### C. 集団や社会との関わりに関すること

- ⑩ 遵法精神・公德心
- ⑪ 公正・公平
- ⑫ 社会参画
- ⑬ 勤労
- ⑭ 家族愛
- ⑮ 集団生活の充実
- ⑯ 郷土の伝統と文化の尊重
- ⑰ 国を愛する態度
- ⑱ 国際理解・国際貢献

### D. 生命や自然などとの関わり

- ⑲ 生命の尊さ
- ⑳ 自然愛護
- ㉑ 感動・畏敬の念
- ㉒ よりよく生きる喜び



布水中の重点項目 … A-①自主・自律、B-⑨相互理解、C-⑲生命の尊さ

〈道徳科の授業の取り組み〉 今回は3年生の授業の取り組みを紹介します。

## 「背番号 15 が歩んだ道—黒田博樹」

D- (22) よりよく生きる喜び



### ～このお話について～

大学卒業後、広島東洋カープに入団。その後、アメリカのMLBで7年間選手として活躍しながらも、再び広島東洋カープに戻ってきた黒田選手。多くのファンに愛されているこの黒田選手の生き方から、生徒たちも自分の生き方へ活かせる学びがありました。

### ～授業後の生徒のまとめより～

黒田さんに限らず、ファンに愛される人は、ファンや支えてくれている人に感謝を忘れないし、どんなにつらいこともひたむきに努力していると思います。私は黒田さんのような人になれないけど、黒田さんから学んだことを日ごろの学校生活に活かしていきたいです。

黒田選手の生き方から、他の人への気持ちを持って、行動に移すのは難しくても大切なことだと思いました。また、自分を支えてくれた人に感謝を忘れずに他の人のことを考えて行動することはいずれ、自分に返ってくるのだとわかりました。これからも感謝を忘れずに行動したいです。

黒田選手の生き方から、人のためにすることは、いつか自分に返ってくるのが分かったし、世の中はお金ではなく、思いやりで成り立っていることが分かったので、これからは人のためになることを自分から進んで行い、相手のことを想って行動しようと思います。

〈6月6日（火）プランター土入れ、6月11日（日）花植え・花摘み作業〉

D- (20) 自然愛護



本校 PTA の環境文化部の取り組みとして花壇整備を行いました。これは地域の「布水花の会」の方々に花壇の土づくりのノウハウを教えていただき、一緒に土づくりを行うというものです。普段なかなか本格的な土づくりをする機会がない生徒も自然に触れるいい機会となりました。

また、今回植えた花は11月に花鉢に植え替え、それを11月下旬に生徒が地域の老人宅へ配布する花鉢配布の取り組みも行っています。これらの取り組みを通し、自然を大切にする心を養い、地域とのつながりを深めることにつながっていきま-す。